

令和3年10月30日(日)

第41回全国高校生プログラミングコンテスト 優勝 ～ メカトロ部 ～

未来のIT技術者の登竜門、全国高校生プログラミングコンテストが埼玉県大宮市で行われました。このコンテストはサーバにアクセスし、マップが出現してその中を自作したプログラムで動作させます。動作方法は、完全に自作したAI（人工知能）プログラムが動作するようになります。例えば、得点が大きいアイテムがあった場合、最短ルートを探し出すプログラムなど、搭載するプログラムは多種多様でアイデアも必要です。マップにはさまざまなアイテムが存在し、それらを取得した点数や相手クライアントをPUT（潰す）と点数が加算されます。

全国で32作品の中、1次予選、2次予選を勝ち抜いた8校が本戦に出場しました。本戦では最初にリーグ戦が行われ、その中で上位4校に絞られます。本校は1次予選3位、2次予選1位となり、本選でも上位に入り決勝トーナメントに進出しました。決勝トーナメント（準決勝）では埼玉県立久喜工業高校と対戦し、2対0で勝利することができました。決勝でも、東京都立多摩工業高校と対戦し、2対0で勝利して、5年ぶり2度目の優勝をすることができました。優勝したプログラムをメインで作成した情報電子科3年の松浦天斗さんは、「2年ぶりの開催で、コロナ禍で部活動の活動時間が限られた中で、思うように練習ができないこともありましたが、自分たちなりに一生懸命努力して、その成果が出たので、とても良い思い出になりました。来年度にも後輩たちにつなげてほしいです。」と述べてくれてくれました。参加した生徒たちは、熱心にプログラミングに取り組み、技術を向上させることができました。来年度は追われる立場となるため、連続優勝できるように頑張りたいと思います。



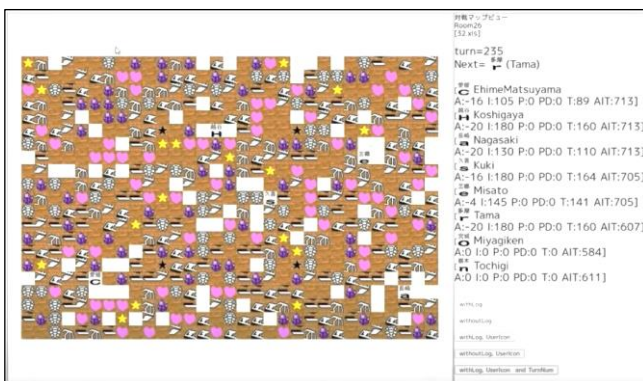
優勝メンバー



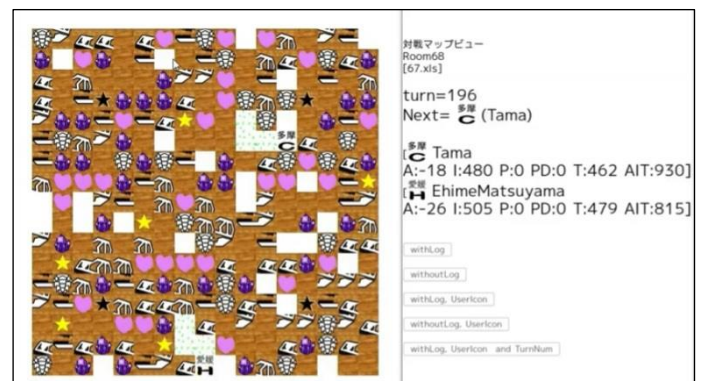
大会を部員全員で応援している様子



開会式の配信を視聴するメカトロ部



決勝大会予選の対戦画面



決勝戦の対戦画面